

と答へた。

自分の見た先生は、眞に世間を超越し、一身を學問に捧げた人であつた。ある日自分との會談中に、毎週定まつて健康診断に来る女婿に當る醫師が来て、如才ない様子で色々話しかけたが、先生は無言の裡に僅かに手を差し出

german translation of the beginning (1-29 of the text 1-9)
 Vernehmung des Buddha - Vernehmung im Thronen -
 Vernehmung des Sangha
 Ich vom Gotte der Götter Buddha verkündete Satna-
 -Schrift, die die vom Himmel und von der Erde leuchtenden
 und glänzenden nicht verheiratheten Thānāni tarā-jip (?),
 genannt wird. Eine Rolle
 Solches ist, was ich gehört habe: In einer Zeit geruhte
 der Gott der Götter Buddha in der Dāyāla genannte Thānāni
 und Vorhaben belanden Stadt zu verlassen — zugleich
 mit den von den Nachen der Buddha der roten Kinnabirichen,
 gen. schrommenen Bodhi'sattva und Götter die Dikhan sarabhin
 ha zu vernehmen. In dieser Zeit befaß sich auch

ラードロフ博士手稿

して脈を執らせた丈けで、直ぐ向きなほつて自分との學問上の話を續けられ
 た。家事向きのことなどは勿論一切顧ないで晝も夜も自若として机に向はれ
 た。これは後に某氏から聞いた話であるが、先生の主宰せらるゝ學士院附屬
 博物館で、事務が停滯して捗らぬので、一日大に奮慨して、早く獨逸軍が此
 町を取ればよいと喝破されたとのことである。獨逸人の精勵を以てすれば、
 こんな仕事は立ち所に仕上げるとの皮肉である——あまりに學問の爲に境域
 を撤し過ぎては居るが。卓然たる學識と徳行とはもとより一般の尊敬する所
 であつたから、時節柄にも拘らずこんな放言を敢てせられても、咎め立てを
 するものもなかつたといふ。

には、學問に關した用事のある時は、どんなことでもいふて寄越すやうにとのことであつた。先生の示された或る
 問題に就いて、モスクワの宿から管見を草して送つた後、先生からは更に厚い原稿が京都に送り届けられた。これ
 にも愚見を附して返事をしたが、爾來四年杳として消息が無い。過激派跳梁の時代となつてからは、通信のことは